

事業所名

トータルサポートライトブレインふたぐち校（放課後等デイサービス）

支援プログラム

作成日

7年

2月

18日

法人（事業所）理念		①私たちは、すべての子どもに多様で良質な学びを与える。②私たちは、すべての子どもに挑戦と失敗の機会を与える。③私たちは、すべての子どもが自分の夢と自分の希望への期待を持って る社会を実現する。④私たちは、すべての子どもの多様性を認め、共生できる社会を目指す。		
支援方針		家庭や学校・地域の人々と手をつなぎ、必要な関係機関とも綿密な連携を図りながら、子どもの地域生活がより豊かなものになるよう務める。 子どもの得意な面に目を向けて、子どもたちが生き生きと可能性を伸ばしていくことを第一の目標に、日常生活における基本動作と集団生活への適応支援、一人一人の発達に応じた療育支援 を行う。		
営業時間		平日9:00～18:30 土曜日9:00～16:30	送迎 実施 の有 無	あり
支 援 内 容				
本人 支 援	健康・生活	・子ども達の健康状態の把握をして健康な心と体で過ごすことができるように支援する。（健康チェック・検温・手洗いうがいの指導・声掛け・換気など） 保護者や学校と連携し、睡眠不足や食事の偏りも把握し、様子をみながら休息が必要なようなら休む環境を整える。 ・片付けや身の回りの整理。掃除を一緒に行い、清潔な環境で過ごす大切さを知らせていく。		
	運動・感覚	・姿勢の保持や身体能力・体幹の向上を目指したプログラムや活動を行う。（ボール・平均台・サーキット遊びなど） ・微細運動・粗大運動を遊びやプログラムの中に取り入れながら運動感覚の向上を目指す。（工作遊び・手先を使った活動・ダンス・体操・サッカー・ドッチボールなど） ・五感を使った活動やプログラムを行い感覚機能が向上するように支援する。（はてなボックスで中身を当てるゲーム・温感クイズ・裸足でサーキットなど）		
	認知・行動	・数や時間・空間の概念形成をはかり、認知機能の発達を促す。（工作・ボードゲーム・集団ゲームなど） ・状況を見て判断する能力を育む。（SST・集団活動など） 概念を身に付ける。 ・お金の		
	言語 コミュニケーション	・語彙数をふやししながら、自分の気持ちを言葉で正しく伝えられる様に支援する。自分の気持ちだけでなく相手の気持ちや考えを聞いて、それを正しく受け止め、会話のやりとりができるよ うに必要な応じて大人が仲立ちとなりながら、代弁、共感などの支援を通してそれぞれの気持ちが理解できるように支援する。（SST・集団活動・自由活動など） ・言葉の表出が難しい子に対しては支援者が様子を見て言葉を補ったり代弁したり、または絵カードなどの別の媒体を通してのコミュニケーションの取り方も模索していくなどの支援を行 う。		
	人間関係 社会性	・子どもたちが自分自身を理解し、コントロールするための方法を学ぶ。自分の得意なことや好きな事を増やしていく中で自信をもち、自己肯定感が高まるように支援する。 に出るイベントや活動を通して、公共の場や社会に出た時のルールを学び、それを実践していくことで社会性を身につけていけるように支援する。（イベント参加・地域や外に出たの活 動・集団活動など）・安定した情緒で生活できるように、信頼関係を築き自分の不安な気持ちや、イライラをコントロールできなくなった時にそれを受け止めていくことで安心感や自分の感 情に折り合いをつけていけるように支援する。		
家族支援		・送迎時や電話・支援システム（HUG）などを通じて、保護者と常に情報共有できるようにする。そして適 宜、相談・助言を行う。 ・ペア アレント・トレーニングの企画や親子活動・保護者交流会の開催など	移行 支 援	学校送迎時を利用した学校との情報共有により、子ども達がよりよい環境 で過ごせるように支援する。
地域支援・地域連携		・地域の関係機関、相談事業所と積極的に連携する。 放課後等デイサービスの事業者ネットワークに参加	職 員 の 質 の 向 上	社内教育（OJT）や外部研修（OFF-JT）を活用し、職員の質の向上を目指 す。
主な行事等		外出活動（各種公園・水族館・外食体験・四季防災館・称名滝など）、クッキング（カレーライス・お好み焼き・パフェ・たこ焼き・鍋・ハンバーグ・フレンチトースト・お月見団子・ホッ トケーキ・ベビーカステラなど）季節行事（お花見・母の日・父の日・七夕・夏祭り・敬老の日・運動会・ハロウィン・クリスマス・お正月遊び・餅つき・節分・バレンタイン・お雛様・進 級・卒業を祝う会など）、防災訓練、茶道、書道など。		